

草の根・人間の安全保障無償資金協力  
贈与契約署名式  
「リロングウェ市中古消防自動車整備計画」  
(リロングウェ市役所)  
2013年3月1日



上段：署名する寒川大使（写真左）とハラ・リロングウェ市長（写真右）

下段：ムテンデレ地方自治・村落開発副大臣（写真中央）立ち会いの下、契約書を交換し握手する寒川大使とハラ・リロングウェ市長

2013年3月1日、寒川富士夫駐マラウイ特命全権大使とリチャード・ハラ・リロングウェ市長は草の根・人間の安全保障無償資金協力「リロングウェ市中古消防自動車整備計画」のための122,135米ドルの贈与契約に署名しました。本案件は日本外交協会を通じ、日本消防士協会（2台）、福岡市、及び東京消防庁より寄贈された消防車両を整備し、日本からマラウイに同車両を輸送するものです。

リロングウェ市の所有する消防自動車で走行可能な車両は現在3台です。限られた車両でリロングウェ県、ムチンジ県、デッサ県、サリマ県という広範囲の要請に対応しなければならず、事故や火事に迅速に対応することが困難となっています。本案件の実施より、同市の所有する消防自動車が7台となり防災体制が強化されます。また緊急呼び出しへの対応時間の短縮、消防士の能力向上が期待され、市民70万人及び近隣県の住民に安全な暮らしが提供できます。

本式典には、オーガスティン・ムテンデレ地方自治・村落開発副大臣が主賓として出席しました。